



## ★ポートアイランドの歩み

市長 ポートアイランドというのは戦後すぐに考えたわけではなく、昭和21年には170万坪埋めたてようということが決められ、現在東部は第四工区まで、西部は第三工区まで埋立られ、それで将来的港湾関係の業務というのは十分いけるという考え方だつたんです。ところが我々が推定していたよりも戦後の復興の仕方、経済の成長が予想以上に早く進んでいったので追いつかなくなり、昭和40年代のはじめから臨海地帯はほとんど使いつくしてしまい、あとは海上以外にはないじゃないかということでおポートアイランド計画が生まれてきたんです。

それを具体化したのが42年にできた「神戸港ポートアイランド利用計画委員会」で、石野頭取に委員長になつてもらい基本構想というものをつくったんです。それから「基本設計委員会」というのをつくって川名さんに委員長になつてもらい、この二つの委員会によつてポートアイランドのだいたいの形ができ上りました。ポートアイランドの港湾施設の方は42年に外貿埠頭公団というのができる、その時に決めたのがコンテナ16バースとライナーバースの合計22バースだったのを後で変更して、コンテナ19バース、ライナー21バースとなり今埠頭公団の方で着々実施中です。ポートアイランド利用計画委員会はその全体計画と同時に、真中に再開発用地というのがあるのですが、それをどういうふうに配置するかということを主にしてやってもらいたいんです。

大まかにいえば、周囲が埠頭とその関連用地、内側が公園とインターナショナルスクエアのような業務用地、それに流通センター、コミュニティスクエアのように配分してあります。総面積で約130万坪、総工費が千三百億ぐらいのものです。まず、事業の半分が市の単独事業であとは公団と直轄事業になつており、公団には国と市が出資し、直轄事業は神戸市が一割負担といつたよう



宮崎辰雄神戸市長

外国でもこれを  
非常に評判にし  
ていますね。

米花 二つの委  
員会も基本線に  
おいては今おつ  
しゃつたように

同じ線をさらに  
深めていくとい  
ふたことになる  
のですが、港湾

機能が非常に大  
きくなつてきた  
のを神戸がどう  
受けたつかと

いうことが一番  
大きな課題だったと思うんです。この数年来、船なり海  
上輸送といふのは技術革新においてどんどん變つてきて  
います。しかもこういふものをつくつていくのは何年計  
画かでやつていかなければいけないし、ある程度絵をか  
きながら港湾輸送の技術革新に対応できるよう切りか  
えていかねばならないので、そのためには港湾機能用地  
をできるだけ十分にとつておこうというようなことがは  
じめからでましたね。現にコンテナでもバスでも変  
更になつてますし、今後さらに建設の過程でどういうふ  
うに施設を変えていかねばならないかという問題が大き  
な課題だと思うんです。そういう事がこの計画の中であ  
り、レキシビリティをもち、またそれが發揮できるような利  
用の考え方というものをもちこむという、非常に難しい  
ことを狙つておられると思うんです。一方には「世界の  
窓口」であると同時に、新しい都市経営の実現をここで  
していき、緑、住い、文化施設をもつた若々しい町をつ  
くっていくんだという考え方がかなりこの中に強く入つ

な計画で進んでいるわけです。

石野 「神戸港ポートアーランド利用計画委員会」を昭和四十二年の十二月に最初に開きました、報告書が出されたのが四十三年七月です。その間市長さんがおっしゃったようにできるだけ埠頭を広くとること、それに関連する港湾の施設を近代的なものを設備すること、公害のないある程度の工場のようなものをつくる、港湾関係者の住宅をつくる、と同時に海洋というものを神戸と結びつけて海洋公園のようなものをつくる、またいろいろな情報施設をつくるとか、こういった考え方でポートアーランドの構図をつくりましたが、これも情勢によって変わらるし、変わるべきものなんだといった考え方で報告書を作製したわけです。コンテナが非常に発達してきているのですからコンテナヤードを増やすとか、先程の「神戸港ポートアーランド基本設計委員会」でさらに詳しく設計をつくろうということになりました。基本的に、山を切りくずしてそれを海に埋めて島をつくるという構想は世界でも非常にユニークな大胆な構想ですので、



米 花 稔 氏

戦前の神戸港は港を中心に発展してきたのですが、港湾施設とか倉庫でうすまってしまい、緑とか海、市民とのつながりがだんだん遠くなっているのをもういつべんここで取り返そうということをこの中でかなり強く生かされたと思っています。その中ではつきりしたのは、はじめの時には公害のない加工工場をもつこともい

★神戸を瀬戸内海の基点に  
市長　はじめは港湾機能ということだけ考えていたのですが、だんだん海上都市的な構想をおりこんでいくようになります。ボートアイ

ランドをつくる時はこれ一つで終りだと考えていたのが、これをつくる過程において、特に最近さらに東に六甲アイランドをつくるということになりました



石 野 信 一 氏

いんじゃないかなということが、今回の基本設計委員会の中では、もちろん何らかの修理とか他のものはあるでしょうが、積極的に「工場」という考え方をとり入れられないでできたということがボートアイランドの利用の仕方としてすつきりしたものになつたんじゃないかと思います。

た。これはポートアイランドの一倍半もあり、今年から着工の予定ですが、考え方というのもだんだん拡大し、進歩していっておりますね。これが将来は大阪湾海上都市構想につながってくるでしょう。

神戸の貿易量がどんどん増え、内外貿易の貨物量が増えていきますと瀬戸内海というものが臨海工業地帯として非常に大きな発展をしますから、神戸をその基地にしたいといったような願いがあるわけです。外国貿易関係の貨物をここで積みかえて瀬戸内各地へ運ぶとかまた瀬戸内から運んできたものを一度ここに集約して外国にもっていくというふうな本当の中継基地として育てていきたいと思っているんです。それともう一つは、ここなり六甲アイランドなりを将来瀬戸内、及び阪神、関西経済圏の情報センター、管理センター的なものへ育て上げていきたいと、こういう願いもあるわけです。

**石野 将来**　将来、西日本が発達してきた場合には神戸は陸、海、空の国際的な窓口になるという地理的な条件があると思うんです。新幹線も神戸にとまることになるでしょうし、船の貨物は神戸を中心で、空港の問題はまだ決まらないんですが、公害のない空港ができるとすれば神戸に近い方が神戸の発展には非常に役に立つ。これからは輸送時間の短縮ということが問題になってしまいます。したがって貨物を飛行機で運ぶということがどんどん発展してくるわけですから、空港はできるだけ近くにある方がその都市の発展には決定的に有利です。神戸は横に長くて海岸に沿っていますから、沖合に空港ができるでも音の公害がなくてすむという条件をもつてますので、それが技術的に証明されれば別に反対する理由はないわけです。それが実現できれば陸、海、空の窓口になつて神戸の将来というのは大きく変つてくると思いまますね。

### ★ポートアイランドを情報、流通のセンターに

**米花 情報、流通のセンター**　ということですが、これはからの神戸の港はどうしても考えねばなりません。そうするとテストケースとしてポートアイランドでいくらかでも実現できれば、ということが期待されるんです。たとえば昨年世界貿易センターの国際会議が東京であつて、閉会式が神戸でありましたね。そこで一つの重要なテーマになつていてのが、情報ならびにコミュニケーションのトータルサービスということだつたんです。ご承知の、ニューヨークの世界貿易センターは着々でき上りつつあります。あれもかなり意欲をもつてトータルな狙いをだしています。有線テレビやコンピューターなども使い、いろんなことをやろうとしています。パリだとかアムステルダムとかベルギーのプラットセルとか、そういう所はみなそれぞれ町の中心に近い所で情報港湾、貿易に関する情報センターの構想を現実にはじめてるわけなんです。だから日本でも神戸でもやつていかないと国際的にも遅れをとってしまう。そういう意味の情報機能をどういうふうに進めていくかということをこういう所で工夫しないといけないでしょうね。

**市長 今までだと、たとえば港湾施設なら港湾施設だけを考えるというきらいがあつたのですが今度のポートアイランドではじめて総合的な計画が検討されたということが画期的なものだと思うんです。港湾地域をつくる、そこで働く人達の住居をつくる、また外国人の人達がきたり国内の人達が遊びにきたりする、そのためインタークナルスクエアをつくる、それから貨物の輸送を一貫した総合的な物流の輸送センターをつくつていく、また昔のように単に業務だけに使うといふんでなしに憩の場にするために多くの島にする、というような島内だけでもあらゆる機能をそこにいれて総合的な計画をしたということ、それからもう一つは背後との関連ということをずっと考へているわけです。それは六甲大橋というものを八車線にする、ダブルデッキの八車線の橋というのは今まで日本にはまだないのですが、それと阪神高速**

一号線と連絡します。また国道二号線のバイパスを考えるということもやつておりますし、この計画の中で湾岸道路の計画もあります。湾岸道路の考え方にも二つあるんですが、一つは五突から東へずっと伸びて摩耶大橋をもう一つつけ、さらに東へ行くというき方と、ポートアイランドの中で東へ折れて、次にできる六甲アイランドを通って東へ伸ばしていくという構想などあらゆるものを見合して計画したということは今までの港の建設にはなかつたことだと思います。機能的にみても海上輸送の革命といわれるコンテナーに非常に力を入れて、先程も申しましたように6バースのものを9バースに変更しました。この中で将来は流通というものに重点をおこすと思い、業務地域を大変広くとてありますし、それに公園もうんととつてあります。北と南に公園をとり、南北軸にも大きなグリーンベルトを通してあります。こういうふうな縁いいっぱいの島にしようという考え方、こういう所が非常に特色のあるところだと思いますね。

**米花** 北公園は建設の途中で市長さんのご要望でとり入れたんですね。金もかかるし現場の方は大変だと思いま

すが、これをつくられたのは大変よかったですね。

**市長** 神戸の人達は自分達の街を山からはよく眺めるのですが、海から眺めたことはほとんどなく、今度ポートアイランドができたら海から神戸の旧市街地を眺められるような場所をとりたいと念願だつたんです。北公園とい

うのは私がいいだしたんですが、香港などに行きますと九龍側からビクトリア市を眺めますと非常にきれいですね。ところが九龍の所で香港眺める広場がないんですねだから北公園にタワーみたいなものをつくって眺められるようにしたらしいだろうと思ってるんですが。それと南北にグリーンベルトの縦軸を通せということ、これは私の主張だつたし、奈良の近藤先生も強く言われてとつたんです。それからポートアイランドは港湾機能を重んずるところではあるけれども、同時に人間中心の島にしたいということです。公園などもその一環ですし、道

路も全部歩道と車道を分離して新しい都市計画手法をとり入れてるんです。完全に歩車道を別個に分離した町といふのはまだありませんので、でき上れば日本ではじめての新しい都市計画の町になるんじやないかと思います。

**石野** 国内での海運というものがフエリーなどの発展で技術的にさらにいろんな形で発展してくるでしょうから港の機能が外国航路の関係だけではなく、ますます国内的にも必要になつてくるでしょう。今後神戸港は国内の交通の中心としても、ポートアイランド、六甲アイランドさらには空港ができてくれば経済的には大きな役割を果たすようになるでしょうね。

**神戸** という町は山が海にせまつて面積が狭いといふところに経済的な発展に制約があるわけです。そこではじめは工場地帯をつくりたいという要望もあったのですが、一方公害問題もあるのでポートアイランドには情報関係とか新しい都市づくりという方に重点がおかれていたたんたんです。

**市長** 工場が全然ないわけではなく、加工工場などは若干ありますね。

**米花** 現実には補修などの多少の作業場的な工場はあります。前のような積極的な意味での工場はないんで

す。  
**市長** 戦前は工場誘致に血道をあげた時代もあつたんですが、もうそういう情勢ではなくなつてきましたね。昔は中継貿易港としてはあかんということをよくいってたんですけど、今は流通と情報、管理機能をもつただいいじやないかというふうに変つてきましたね。これだけ人口が緻密になつてしまつたら工場はもう郊外へ出すより仕方ないでしょうね。

それから今、瀬戸内の物をどこに集めるかということを考えているんですが、いろいろなものが方々に別れてるでしよう。たとえば乗客は中突堤、貨物は東部埋立地、第四工区の内貿埠頭、兵庫突堤、フェリーもあちこちに

あり、こちらで乗れないとあそこで、というようになかなかうまくいかない場合もあるので、こういうものを一つに集めるという「機能の集約化」というものを考えていただきたいと思います。フェリーだけでも乗り場が六つに分かれているんです。これからは開発と同時に整理の時代に入らないといけませんから。日本の政治なり行政なりはどうしても後退になりますからね。

**石野** それだけ経済の発展が早いということでしょうね。

**米花** 本土、四国架橋ができるまでフェリーはあまり減らないでしよう。

### ★ポートアイランドへの期待

**石野** こういうふうに入れ物が大きくなり立派にもなってくると、そこで働く神戸の企業経営者の意識もより大きく広くなっこないといけませんね。ことに若い経営者たちが今から世界や日本の動き、あるいは将来の経済の展望とかをよく勉強する必要があると思う。神戸の経済人が立派になれば、こういう形の発展と共に内容も充実してくるでしよう。

人の考え方というものは時代と共に非常に変ります。

公害問題一つとっても六〇年代と七〇年代とではずい分急に変わっている。今ちょっと反動的に、経済の成長が早すぎて人間は物質的には満足してしまって、もつと内面的なものがほしいんだというような風潮もありますが、しかしアメリカなどに比べれば住宅一つとっても個人の生活というのはすい分貧弱なんですね。したがってポートアイランドの拡張、改善と同じ意味で、神戸市全体を形の上でもいろんな点でもよくしていき、それと平行して経済人の意識もより広くより深く勉強していくかなければいけないという感じがしますね。

**米花** 大阪湾の問題がこの二、三年来とりあげられており、先程市長さんからもこの次は大阪湾をどうしていく

かということにつながっていくんだろうといわれました  
が、それをやつていく上にポートアイランドというものが第一期のテストケースになるわけです。ポートアイランドが上手にできるという見本が示されれば、その後にさらに前進していくんだろう、これがもしものができるないということになると次に進んでいくことがちょっと難しくなるんじゃないかなと思います。

ですからこの成否いかんで、大阪湾をいつたいどのように取りくんだらいいかという目度がついてくるんじやないでしようか。その意味で私はポートアイランドに対する期待は非常に大きいんじゃないかなというふうに考えています。

**市長** 今までの町づくりというのは、自然に発展していくものを後で時代の流れに応じて文化的な生活ができるよう形をととのえていくことばかりやっていますね。ところがこういうものになると、はじめから計画し、すべての機能が揃った一つの町ができるわけです。その点でポートアイランドの成否というものは後代に評価されるでしょうが、私は努力次第によつては非常に面白味のあるいい町ができる可能性があると思いま

すね。  
形でみてもらつてもわかりますが、今まで百年かかるででき上った町の三分の一ぐらいのものが十年か十五年ぐらいでできるんですからこれは大事業ですよ。しかも非常に安くできるんです。ですから私はこれを日本の町づくりのモデルケースにしてもらつてもいいし、またそれがぐらいのものをつくりあげたいと思っています。皆さんのいい知恵もおかりして、これから変化する時代に対応できるようにし、完成した時にはその時代に少しも遅れをとつていいようなものに仕上げたいと思っています。

静かさの中で息づく格調ある美しさ



O-SHIBATA  
柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693  
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

何げなくとり出すこの一枚に  
40年の苦心の味が  
秘められています

ゴーフル

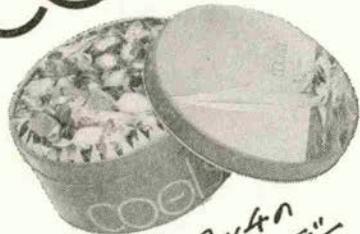


神戸にそだって 70年



元町3丁目 TEL 392412~5  
さんちかスイツタウン TEL 393455

SUMMER CANDY  
COOL SIX



クールセックス  
クールセックスキャンディー<sup>△</sup>  
さわやかさが  
お口にいって  
ハロカリオズ  
500円・700円・1000円・1500円

## チョコレート \* キャンディー ゴンチャロフ

本社 神戸市生田区加納町4-1 ☎39-2636  
直売店 サンチカスイーツタウン ☎39-3565  
直売店 神戸商工貿易センタービル ☎25-0237

夏を装うダンディなおしゃれ

しゃれたトアロードの紳士ブティック



輸入洋品雑貨

ノ  
ヴ

●英国製生地を使ったオーダーメードによるプレタロームをぜひご利用下さい  
トアロード〈アメリカンファーマシイ向い〉  
TEL. (078) 32-0320



●お気軽にお立ち寄りください。

英國製生地専門店  
**ジュン 洋服店**  
神戸生田区中山手通3丁目65  
TEL. (078) 39-0779

## 経済ポケット ジャーナル



でよ。

★兵庫県社会福祉協議会、  
20周年を迎える

★NHK神戸支局開局  
NHKの「UHF 兵庫県  
域テレビ」(JOPP、28  
チャンネル)が六月七日開

局、一日平均四十五分のカ  
ラー自主番組の放送を開始  
した。

ローカル放送の充実を目  
ざすNHK・UHF県域テ  
レビは、すでに五月に全  
国トップを切って滋賀県  
の大津放送局で始まってお  
り、神戸は二番目である。神  
戸と同時に和歌山でもスタ  
ートし、来年には京都、奈  
良も開局する予定で、近畿  
圏すべての県域放送が出そ  
うことになる。

このほどトアロードに完  
成したNHK神戸放送会館  
はUチャンネルの28、その  
他の地域ではNHK総合テ  
レビのUチャンネルと同じ  
トアロードに完成したNHK神戸支局

の新庁舎は、鉄筋四階建、  
延べ約四千五百平方が、  
カラースタジオのほか、ア  
ナウンス・スタジオ、ラジ

オ用スタジオも備え、地方  
民放局並みの規模。取材陣  
もプロデューサー四人、ア  
ナウンサー一人、記者、カ  
メラマン一人ずつの計九人  
が増員された。

U波を発信するアンテナ  
はサンテレビと同じ摩耶山  
頂に建てられ、スタート時  
の電波エリアは阪神北部、  
淡路島西側の一部を除いて

県下のほぼ全域をカバーす  
る。これまで県下のニュー  
ス、話題はすべていつたん

大阪に送られて、そこから  
電波にのつていたが、県域  
放送の開局でほとんどが神  
戸放送局から直接放送され  
ることになった。

なお、一般家庭でこの県  
域放送を受像するには、神  
戸、阪神間(北阪神、芦屋  
北部、宝塚などを除く)で  
はUチャンネルの28、その

他の地域ではNHK総合テ  
レビのUチャンネルと同じ

者、行政関係者ら約二千人  
が集まつて、20周年を記念  
する第二十回兵庫県社会福  
祉大会が開かれた。

坂井県知事から各代表に  
感謝状が贈られ、高度経済  
成長下のさまざまなひずみ  
を打破し、社会保障、民間  
社会福祉事業の今後の飛躍  
を推進のために努力すること  
を決議した。

★三菱重工神戸造船所に  
15万重量トンドック完成  
三菱重工神戸造船所は、  
かねてより第4ドックの延  
長拡幅工事を行なつていた

が、このほど完成し、入渠可  
能最大船舶は10万重量トン  
から15万重量トンへと増大  
された。今回の工事は神戸  
造船所で建造する超大型コ

ンテナ船の入渠と旺盛な大  
型修繕船ならびに改造船の  
需要に対抗するため施行し  
たもの。この延長工事の特  
長は、わが国初めて海側へ  
の延長をドックの仮縫め切  
りを行なわず、ドックを稼  
動しつつ工事を行なうとい  
ふた、斬新な工法を採用し  
た点にある。



完成した15万重量トンドック

### ★KOBE オフィスレディ★



久保 良子(22)

三菱商事株式会社タイ事務所事務

素敵なエトランゼに接し、英語を話せるようになろうと決心して2年、その間、余暇を惜しんで個人レッスンに通い続けたという。その語学力といいセンスといい、まさしく神戸っ子の一人である。

山手女子短期大学卒

神戸のアーバンデザイン  
海と山

水谷頼介+チーム・UR

52

の白く長い防波堤を額縁として、この緑の山全体が海に投影しているように感じます。

ポートアイランドの先端には海一大阪湾を望む大公園が計画されています。ところが、この公園からは、逆に東西にひろがる六甲山を仰ぎ見ることができます。六甲山全体の緑と公園の緑がお互いを写し出すように交流する雄大なスカイビジョンが想像されてくるのです。実際の行動として、この港の公園と六甲山の山の緑の間を往復することができるのも、これからの大いな楽しみの一つです。六甲山頂でスキーとスケート、下に降りて港に臨むコートでテニスをと、同時に二種のスポーツがエンジョイできる街も神戸ぐらいではないでしょうか。

(水谷頼介)

★大きな緑の山並みと組み合わされた大阪湾、それは、世界にも例のないものではないでしょうか。オランダ・ロッテルダム港は、ライン河岸の干拓地のなかですし、ニューヨーク港も、低い台地につながる港です。

マルセイユ港の背後も低い緑のない岩山です。神戸港のうしろには、緑の六甲山脈が、どんとひかえています。紀伊水道から神戸港へ近づいてくると、まず、水平線のかなたに眼に入ってくるのは、この六甲山です。そして、だんだん近づいてくるにつれて、この六甲山の麓につながる緑の街が見えてくるのです。そして、この山脈の起伏・形は、意外に変化に富んでいます。開港当時のスケッチの山なみの陵線を思い出してください。それとそっくりです。

より街に近づきます。するとポートアイランド



▲開港当時の山並みと街並み

▼現在の街並みと山並み



モダーンリビングを考える  
神戸のモダーンリビング  
52 1

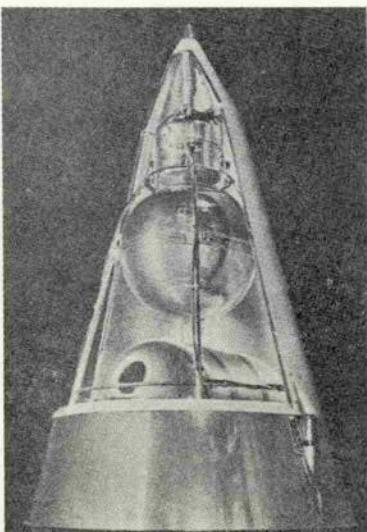
水谷顕介+チーム・UR

★エジプトのピラミッドを知らない人はいないでしょう。でもその時代エジプトの人々はどのような家に住んでいたのでしょうか。ピラミッドは王様の墓で大変な労力と国力をあげて作られたもので、現在でもそれは立派なものです。しかしその時それはいかに立派なものでも、なんと無駄なものでしょうか。しかしそのピラミッドは現在も建っているし、人類歴史の一つのモニュメントとして残っています。私はその時代に非常に機能的なものはすぐに使いものにならなくなり、一見無駄なものや、何の使い道もないスペースが意外と建物の生命と空間の用途に、変化と長い生命力を持っていることが多いと思う。現代は合理主義と機能主義の時代といってよいでしょう。仕事場を合理化し無駄を少しでもはぶき、良いものを正確に作り、少しでも安く売って行くことが、現代

社会の中で欲求されていることです。しかしこの合理主義、機能主義の時代ほど、人間は何か息ぬきを考えたくなります。無駄な空間とはそんなものです。アポロ人工衛星の中でも人間は生きて行けます。またより合理的な人工衛星ができると、アポロ人工衛星は使われなくなります。しかし住宅はやはり人工衛星ではいけないでしょう。

モダーンリビングとは機能的な人工衛星と無駄なピラミッドの中間にあるのではないでしょうか。そしてモダーンリビングを論ずる場合、常に使いやすさと合理的なことが取り上げられていますが、必要なものはより豊かに生活をと、より豊かに住むことだと思う。

(武田則明)



▲エジプト・ギゼのピラミッド  
◀人口衛星のカプセル部透視図

# 海上空港

諸岡博熊

△阪神外貿埠頭公團工務部長▼

関西新国際空港の立地条件は、大都市に近く騒音の被害の少ないかつ、空の管制スペースが充分にあるところといわれる。これらの条件を満足するところは、陸上で淡路島北部、海上では大阪湾上に求めざるを得ない。従つて海上空港の場合、水深と海底地質に応じて、①干拓式、②埋立式、③棧橋式、④浮箱式とその基本型式は分れるが、経済性と安全性（技術的に容易で、工期の短かい）が海上空港建設に際し問題とされる。

× × ×

①干拓式——周囲に堤防を築き内側の海水を排除、海底を露出させ（海底地盤がしつかりしている場合）そこに空港を建設するものである。水深の浅いところに応用される。オランダが得意とするところで、アムステルダムのスキポール空港はマイナス四メートルのところに建設されている。ところが、堤防の維持と堤内の排水にかなりの経費がかかるところに難があ

る。水深十メートル前後がもつとも経済的。海外ではミシガン湖底に計画されているシカゴ第三空港計画が参考となる。（第一図）

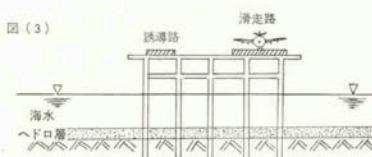
②埋立式——神戸市得意とするところではあるが、大量の土砂源



図(1)



図(2)

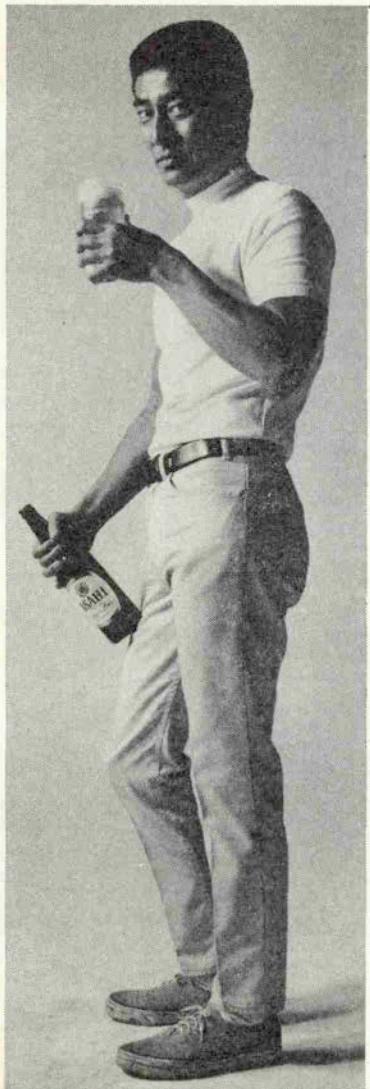


図(3)  
図(4)

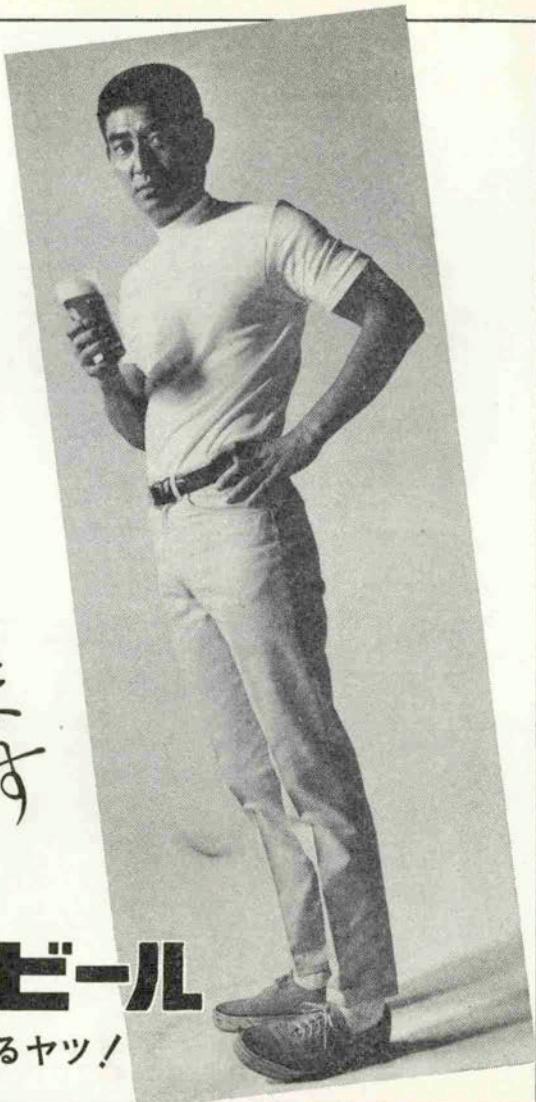
の確保とその大量短期輸送が問題点とされる。その上、海底の地質が軟弱な場合、沈下対策にかなりの経費がかかる。水深は十メートル前後がもつとも経済的である。例えれば、ニューヨーク・ケネディ空港や羽田の空港などの滑走路の延長工事はこれによつた。（第二図）

③棧橋式——港湾工事で棧橋式の岸壁はすでに実用化しているが空港の要求する広さのものは実現しない。工法は杭を海中に打ち込み杭頭をそろえその上にプラットフォームを設けるものである。この方式は水深15メートル前後がもつとも経済的である。かなりの面積のものを建設する必要があるため機能的に制限をうける。海外の例では、ニューオルリーンズのボンシャントレイン湖の空港計画が参考となる。（第三図）

④浮箱式——水深のかなり深いところで、かつ、底質に影響なく実施できるもつとも経済的な方式とされる。かつて、神戸商工会議所会頭砂野仁氏が発表したものと同様のものといえる。神戸市の姉妹都市シアトルにはコンクリート製ポンツーンをならべた浮橋が、立派に存在している。しかし、空港として実用化した例はない。（第四図）



の  
ん  
で  
も  
ら  
い  
ま  
す



**アサヒビール**

てごたえのあるヤツ！



コウベの夏は  
ビアで乾杯



三宮ビル  
ビヤガーデン



ニュートーキョー元町店  
TEL 33-1422

ニュートーキョーさんちか店  
TEL 39-5069

三宮ビル ビヤ・ガーデン  
TEL 22-3598

三神ビル ビヤ・ガーデン  
TEL 33-5520



ビアホール  
レストラン

コウベ  
マップ